令和７年度　広島県病害虫発生予察情報 技術情報第１号

ムギ類赤かび病の防除時期が近づいています！

令和7年４月２日発表　広島県西部農業技術指導所

気象状況及び生育状況（表１参照）

・中国地方１か月予報（３月27日発表）では、降水量は平年並か少ない見込みですが、気温は、4/5～4/11が高く、4/12～4/25が平年並か高い見込みとなっています。赤かび病の発生に注意し、基幹防除を徹底しましょう。
・農業技術センター（東広島市）での生育ステージは、（小麦）キヌヒメ、（大麦）さやかぜがほぼ平年並、（小麦）ミナミノカオリは平年よりやや早まることが予想されています。

表１　ムギ類の生育ステージ（東広島市、標高225m）

品種	播種時期	年次	茎立期	**出穂期**
（小麦）キヌヒメ	11月７日	本年	３月22日	**４月16日**
		平年	３月16日	４月17日
（小麦）ミナミノカオリ	11月７日	本年	３月７日	**４月10日**
		平年	２月23日	４月16日
（大麦）さやかぜ	11月７日	本年	３月14日	**４月10日**
		平年	３月７日	４月12日

防除適期（表２参照）

・赤かび病は開花期に最も感染しやすいため、防除は**開花始め**と**その７～10日後**の**２回防除**を行いましょう。開花始めは、小麦では出穂から約７日後、大麦では出穂から約３日後です。但し、**二条大麦**は**葯殻抽出期**と**その７～10日後**の**２回防除**を行いましょう。
・気温により出穂状況が前後するため、ほ場をこまめに巡回し、確認しましょう。

表２　防除適期の目安

		開花始め	※葯殻抽出期（二条大麦の場合）
小麦	防除	**1回目** ←→	**2回目**
	出穂後日数	**7**　7～10日間隔	**14～17**
六条大麦，キラリモチ	防除	**1回目** ←→	**2回目**
	出穂後日数	**3**　7～10日間隔	**10～13**
二条大麦	防除	**1回目** ←→	**2回目**
	出穂後日数	**13**　7～10日間隔	**20～23**

開花始め：１穂につき数花開花しているものが、全穂数の10～20 %に達した日。
葯殻抽出期：穎の先端から葯殻が押し出される時期

防除薬剤について

・薬剤散布については、農薬使用基準（使用量、希釈倍数、使用時期、使用回数等）を遵守するとともに、　周辺作物への飛散防止対策を徹底してください。なお、最新の農薬情報は、農林水産省ホームページ「農薬コーナー」の「農薬登録情報提供システム（https://pesticide.maff.go.jp/）」を参照してください。

お問い合わせ先

広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム
〒739－0151
東広島市八本松町原6869
TEL：082-420-9662（直通）

ひろしま病害虫情報 メルマガ登録はこちら ひろしま病害虫情報

ひろしま病害虫情報
（https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/byogaichu/）